



国有林野事業の**取組**

えりも岬緑化事業70周年記念行事

〜2023リン子とルンルン海の森づくり(植樹祭)〜

北海道森林管理局 日高南部森林管理署

はじめに

令和5年5月17日、えりも町百人浜展望台において「えりも岬緑化事業70周年記念植樹祭」(主催:えりも岬緑化事業70周年記念行事実行委員会、以下「実行委員会」)が開催されました。

かつてえりも岬は、燃料採取のための森林伐採や家畜の過放牧、バッタの大群による被害などのために、「えりも砂漠」と呼ばれるほど荒廃しました。えりも岬の海岸に緑豊かな森林を蘇らせるため、国有林治山事業による緑化事業が始まった昭和28年から今年で70周年となります。今回開催された植樹祭は、これを記念するとともに、これまでのえりも岬緑化事業に捧げた情熱などの歴史を風化させることなく、次世代の子供たちに伝え、地域との絆をより一層深めることを目的に開催されたものです。

地域と連携した機運の醸成

実行委員会には、えりも町、えりも漁業協同組合、ひだか南森林組合といった地域関係者に、北海道森林管理局、日高南部森林管理署が参画しました。令和4年度には、イベントとして、えりも高校で講演会とパネルディスカッション、北海道森林管理局で緑化事業の資料展示などを開催し、記念植樹祭の実施に向けて機運を醸成しました。

記念植樹祭

植樹祭には、地元えりも町と近隣の浦河町、様似町の小学生約350人を含む約600人の皆さんが参加しました。「ミス日本みどりの大使」の上村さや香さんがオープニングのナレーションを行い、開会式の雰囲気盛り上げました。

管内概要

所在地

北海道日高郡新ひだか町静内緑町5丁目6番5号

区域面積

306,944ha

うち森林面積 258,398ha うち国有林面積 130,169ha

関係自治体

新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町



日高南部森林管理署は、北海道の中央南西部に位置する日高流域の南部に広がる約13万haの国有林を管理経営しています。東側には、急峻で標高1,500mを超える日高山脈があり、南側は太平洋に面しています。

管内の広域が日高山脈襟裳国定公園に指定されており、山岳や豊かな自然景観などの観光資源にも恵まれ、多くの人々に利用されています。

また、新冠川、静内川、三石川、元浦川など急流河川が多く、豊かな水を供給することにより漁業や電源開発などで地域産業に重要な役割を果たしています。



北海道

日高南部森林管理署

植樹会場

続いて、日高南部森林管理署の森谷署長による力強い「開会宣言」で植樹祭が開会し、実行委員会の坂本好則委員長（えりも漁業協同組合長）、えりも町の大西正紀町長、北海道森林管理局の上練三局長が挨拶で、先人の努力と功績への敬意と今後も緑化事業を継続していく決意の表明がありました。

開会式には特別ゲストとして、浦河町出身の映画監督で現在この緑化事業を題材とした映画「北の流氷（仮称）」を制作中の田中光敏監督が出席され、「積み重ねる力は奇跡を起こす、諦めなければ夢は叶う、その心を持ち続けたいからこそ今のえりもがある」と激励の言葉をいただきました。

その後、参加者の皆さんはクロマツの苗木1,200本を植樹しました。それぞれスコップで穴を掘り、一本一本やさしく土をかけ、植えていきました。普段は風の音しか聞こえないこの場所にも、この日は、笑顔と歓声が響き渡っていました。皆で植えた苗木が大きく育つことを願いつつ、閉会しました。

🌱 これからの緑化事業
えりも岬国有林はクロマツ一斉林が多い状況ですが、かつての森林の状態に近づけるため、現在、密集しているクロマツの間引きを行い、空いたところへカシワやミズナラなどの広葉樹を植栽して、針広混交林化を目指しています。

日高南部森林管理署では、今後も地域との連携を保ちながら緑化事業を推進していくとともに、全国の海岸林の造成事業の見本となり、多くの方々に森林と海との絆にふれていただけたような森林づくりを進めていきたいと考えています。



植樹祭開会式



田中光敏映画監督



司会を務めたみどりの大使



10年前の植樹祭で植えた木



植樹する子どもたち



参加者で記念撮影